

平成 23 年度第 8 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 24 年 2 月 20 日 16 時～16 時 45 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、山中、田中、牧野、家崎、浅野、 (敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	田中 アケミ
研究名	外来化学療法におけるレジメン別 副作用症状の調査を実施して 「自己管理ノートを利用して」
研究内容 要旨	抗がん剤治療は、「投与計画＝レジメン」をもとに様々な薬剤で治療が行われている。抗がん剤治療には、副作用が問題となるが、当院で治療中の患者様にレジメン別で発現された副作用には、どういったものがあり、どのように対処したのかを調査します。
審議結果	条件付承認
意見	研究の成果は、当院倫理委員会の審査を受けた後→当院倫理委員会の審査を受けた後、研究の成果は に訂正する。 F A X 番号を訂正する。059-328-1920→059-328-1921
新規研究計画の審議	
申請者	和田 美奈子
研究名	早期の更衣動作介入の意欲に与える影響
研究内容 要旨	当院回復期リハビリテーション病棟では、早期に日常生活動作能力を向上させ、活動性や自発性を促進し、病棟スタッフとの連携を図るため、患者の生活時間に即した 7 時から 9 時の早期の介入を実施している。今回、患者の生活に即した時間に更衣動作に介入することが、患者の意欲にどのような影響を与えるか検証する。
審議結果	承認
意見	特になし
新規研究計画の審議	
申請者	水谷 真康
研究名	「足浴と足関節底背屈運動が動脈スティフネスに与える影響」 ～健常者に対する PWV を用いた即時効果の検証～
研究内容 要旨	低負荷強度で効率よく動脈伸展性の改善を見込める運動として、足関節底背屈運動に着目した。さらに、血液循環の改善が効果としてあげられる温熱に着目し、比較的簡便に実施可能な足浴に着目した。健常者に対し 3 つの運動を施行し、効果を実証したい。

	また、今後の展望として、最も効果が表れたものを心・脳血管疾患危険因子を有する回復期患者に対して実施し、動脈スティフネスに対する効果・有用性を検証したい。
審議結果	差し戻し
意見	研究名および研究の背景、目的をわかりやすいものに改める。 F A X 番号を訂正する。059-328-1920→059-328-1921
条件付承認（委員長に一任）とされた研究計画の確認報告審議	
申請者	辻 裕加子
研究名	寝たきり防止の試み ～自宅・施設復帰に向けて～
研究内容 要旨	自宅や施設から入院してきて患者様を中心に昼間離床させることによって、身体能力の低下を防ぎ、寝たきり防止に繋がるのではないかと考え、調査する。
審議結果	承認